

● 検診領域が大きく、また検診精度の向上ができます。

● 天板上下動範囲は46cmと大きく、さらに踏台を無段階に約25cm上方へ移動することができます。

● AO-20は正面方向のX線束による透視、撮影のほか、斜方向および水平方向のX線束による透視撮影ができます。背臥位右左方向、左下側臥位背腹方向などの撮影を従来の撮影法と組み合わせることにより、より有効な検診を行うことができます。多方向透視、撮影のための装置は、これまで室内据置形に限られていましたが、I.I.L.間接撮影用装置は小形に構成されていますので、車載の装置で胃集検を行う場合にも多方向透視撮影を活用していただくことができます。

多方向透視撮影による検診精度の向上

アンダーテーブルチューブ方式

AO-20

